

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 11 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '市営住宅建替事業' and '住環境の整備と景観の形成'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about public housing improvement and maintenance.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 6 columns: ①手段, ④活動指標, 単位, 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(計画), 29年度(目標), 30年度(目標). Includes data for housing units and safety.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(計画), 29年度(目標), 30年度(目標), 期間限定総投入量. Includes financial and personnel data.

Table with 4 columns: 27年度事業費実績 (千円), 28年度事業費予算 (千円), 合計. Includes items like '13 委託料' and '15 工事請負費'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	市営住宅建替事業（ストック住宅改善事業）	事務事業No.	40501000776	所属課	都市整備課
-------	----------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	住宅に困窮する世帯に低廉な家賃で住宅を供給することを目的とし戦後の住宅不足に対し開始されました。平成21年度より老朽化した公営住宅ストックについて予防保全的な維持管理を推進することにより公営住宅等ストックの長寿命化を図りライフサイクルコストの縮減を実現するために開始した。これまで市単独では予算を考慮し着手できなかった大型修繕事業を交付金を利用することにより計画的に行うことができ公営住宅の長寿命化を図りライフサイクルコストの縮減が出来るようになった。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	住民：入居者は、計画的に整備することによりライフコストの縮減にもなることから支持を受けている。 議会：大切な公共財産の長寿命化につながり、また交付金を利用していることなどから支持を受けている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	長寿命化計画に基づき計画的に大型修繕を実施している。平成27年度はますみ住宅3・5号棟の外壁改修を行った。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	快適で潤いのある居住環境づくりや住居環境の一環に結びついている
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市営住宅を安全に使用できるよう管理することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	・住宅困窮者への新規供給 ・ストック住宅の長寿命化 ・ライフコストの削減
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	・入居待機者へ新規供給が出来ない ・ストック住宅の長寿命化が実現できない ・ライフコストの削減が出来ない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）→	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	具体的な手段、事務事業名
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	民間住宅の借上げにより公営住宅として借り上げ、供給することにより市で所有している老朽化住宅を解体撤去でき、借地の返還に結び付けられる。 国庫補助事業のため、職員で無ければ出来ない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	入居者だけに受益のある事業であるが、公営住宅を整備することにより、周辺地区の環境整備にも繋がる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成18,19年御領西住宅2棟24戸を建て替え以来、新規住宅は供給がないが、住宅の長寿命化を目的に、平成20,21年(地上デジタル対応事業：17住宅)平成22,23,24年度(屋上防水改修事業：3住宅120戸)平成25、26、27年度(外壁改修事業：2住宅102戸)と大型修繕進められた。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 議会(常任委員会)に於いて、市営住宅の建設には、前向きな意見が無いが、住宅困窮者の現状、子育て世代の支援、市外からの定住等支援すべき事業であることを説明し、計画の策定・建設などにつなげていく。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上	コスト			維持	削減	維持	増加	低下		○	
成果	向上		コスト											
	維持		削減	維持	増加									
	低下		○											
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果														
コスト削減優先度評価結果														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>